

| | |
|---|---|
| 研究課題名 〔倫理委員会承認 No.2016-7〕 | 抗凝固薬継続症例とヘパリン置換症例の内視鏡的大腸ポリープ摘出術後出血割合に関する検討 |
| 研究の対象 | ワルファリン(抗凝固薬)服用中で、内視鏡的大腸ポリープ摘除術を受けられる方 |
| 研究の目的 | 内視鏡的大腸ポリープ摘除術施行時、標準治療とされてきた血栓症治療薬であるワルファリンをヘパリン持続点滴に変えておこなう場合には、患者さんの費用負担と血栓症リスクが増加する。ワルファリン継続のもと、同摘除術をおこなった場合の手術後の安全性を明らかにし、新たな標準的治療法として確立する事を目指します。 |
| 研究の方法 | ヘパリン点滴投与に置き換える標準治療と、ワルファリンを中止せず飲み続ける新治療をランダム(選択不可)におこない、内視鏡ポリープ摘除術後の血便の有無、血液検査等で、両治療法の優劣を比較します。 |
| 研究の期間 | 登録期間:2022年8月31日迄 総研究期間:2023年8月31日(予定) 登録患者さんのデータ追跡期間は術後28日間です。 |
| 研究に用いる 試料・情報 | 大腸ポリープ病変の情報、手術に関する情報、血液検査データ、既往症、身体所見、等 |
| 外部への情報提供 | 個人情報については、記号・番号化などで匿名化します。すべてのデータは当院消化器内科で責任をもって管理します。大阪市立大学医学部附属病院において、医学雑誌や学会発表に公表される時も、個人を特定されることはありません。 |
| 研究組織 | 大阪市立大学附属病院を中心に約20施設が参加します。 |
| <p>この研究は、ご加入の健康保険で支払われます。協力することで、特別な費用の負担増は一切ございません。ワルファリンを継続して治療する場合は、標準治療時より費用の負担が軽減される場合があります。</p> <p>なお、今回の研究に協力しないことによって、当院での診断・治療において不利益を被ることはありません。</p> | |
| <p>【問い合わせ先】 社会医療法人景岳会 南大阪病院 消化器内科 福田 隆 〒559-0012 大阪市住之江区東加賀屋1丁目18-18 Tel: 06-6685-0221(代)</p> | |